

「14歳のよのなか挑戦」（社会体験学習）協力事業所アンケート（まとめ）

平成29年11月30日
日向市キャリア教育支援センター

・アンケート回答事業所 41社 （受入れ事業所55社 /75%）

1. 「社会体験学習の、3日間という日数は如何だったでしょうか。」

イ. ちょうど良い	33
ロ. もう少し長くても良い	4
ハ. もう少し短い方が良い	4

「イ」

- ・弊社の規模ですと、会社全体の仕事の流れの話が1日と、実際に作業を2日間にわたって行うため、ちょうど良い日数だと思います。
- ・本来なら、もう少し長い方が良いのではと考えますが、受け入れ側の負担や、生徒さんの受けるプレッシャーなどを考えると、3日間というのは妥当かと思います。
- ・1日だと「見学」になってしまいますが、1, 2日目に体験してもらったことが、3日目にどのような流れで会社が回っているかみてもらえることは良いと思う。
- ・社会体験学習期間中に、日向市近郊での作業現場があったため、対応しやすかった。
- ・緊張感をもって取り組むには適当な日数だったと思います。
- ・日向地区には、複数の事業所があり、異なった事業を行っていることから、3日間は適当である。
- ・体験という点ではちょうど良いと思います。
- ・5日間は、14歳には少し長い気がします。
- ・去年は2日間で、今年は3日間で、体験時間も1時間長くなり、充実した3日間だったと思います。

「ロ」

- ・事業所としては、日数が増えるとその分スタッフが付きっ切りになり、業務の負担になるが、中学生の成長を考えると、長い方が良い。
- ・3日間では、なかなか仕事についての理解まではできないので、もう少し長い方が良い。

「ハ」

- ・通常2日間で受け入れているが、延岡本社（印刷工場や新聞製作工程がある）と違い、体験することが「取材」だけに限られるため、もう少し短い方が良い。
- ・本人が希望した職場でないと聞きました。体験だけであれば3日間は要らないのでは、と思いました。
- ・他の中学や高校からも来るので、2日間で良いのではないのでしょうか。

2. 今回の社会体験学習に参加した生徒の取り組みは、意欲的だったでしょうか。

イ. 意欲的だった	22
ロ. まあまあだった	18
ハ. 気になるところがあった	1

「イ」

- ・両名とも、明るく、高齢者の方と接してくれました。
- ・言われたことを、嫌な顔をせず、てきぱきと動いていました。
- ・子供たちと積極的に関わる姿が見られ、子供たちとたくさん遊んでくれていました。
- ・もともと、ものづくりに興味があるということで弊社を選ばれているだけあって、溶接作業を行う時など、実際に作業を行っている時の方が、初日の座学（営業や設計等の話）の時よりも生き生きとしている様子でした。初日は、慣れのことから座学を中心にカリキュラムを構成しているのも、その辺の配慮からです。今まで、弊社に来られた学生さん殆どが真面目に、意欲的に取り組んでいただいています。ひとえに、送り出す時の、学校側の対応が良いのだと感じています。
- ・言われた仕事に積極的に取り組み、3日間がんばってくれました。
- ・2名受入れましたが、どちらの生徒さんもハキハキとして好感が持てました。覚えも早く、指導する側としても良い勉強させていただきました。
- ・1日目は、なかなか声が出なかったが、2日目は、よく出ていて挨拶や返事が良くなった。与えられた仕事が終わると「次は何ですか？」と積極的に聞いてきた。
- ・次にやることを自分から積極的に聞いておりました。
- ・とても大きい声で挨拶ができていました。
- ・研修では、真剣な態度で話を聞いていた。
施設の見学については、いろんな事に興味を持ち積極的に取り組んでいた。
- ・体験内容については意欲的でした。
自身の将来像についてももっと考え、取組んでもよいのではないかと思います。
- ・新入社員としては物足りないが、中学生としては十分意欲的だった。
- ・実習生は礼儀正しく、意欲的でした。
- ・積極的な姿勢がみられた。
2名の生徒は、将来の夢が電気関係の仕事に就きたいということもあり、ダムや発電所の仕組みについて質問を多く行っていた。現場でも真剣に設備を見学していた。
- ・質問も多く出て、興味を持ってくれたので良かったです。
- ・まじめに取り組んでいた。

「ロ」

- ・店頭で多くのお客様に試食販売をしてもらったのですが、恥ずかしがりながらも、回数を重ねるうちに積極的な動きや、声を出す姿がみられました。仕事への取り組みは良かったのですが、仕事の発想について聞くと、言葉づかいやネガティブな発言に気になることがありました。
- ・他の職場体験の生徒と同様でした。
- ・最初は、顔（表情）も固く緊張していましたが、日を重ねる度に笑顔がみられるようになりました。
- ・全く知らない職場で、緊張しての挑戦だったため、当日は表情が固かったです。
最終日は、笑顔もみられました。その環境にいただけでも評価できると思います。
- ・初日は、緊張もあり意欲的ではなかったが、2、3日目については、積極的に行動できていたように思います。初めての事ばかりで、仕方がないと思います。
- ・作業内容を理解し取組んでおりましたが、意欲は感じられませんでした。
- ・緊張のせいか、自ら質問することはほとんどなかったが、一生懸命してくれた。
- ・もう少し大きな声、笑顔があれば良かったと思う。
- ・興味ある部分に関しては、熱心さが伝わってきたが、自主的に作業に関わるまでの意思は感じ取れなかったです。
- ・個別に違いはありましたが、積極的に子供たちに関わって元気いっぱい触れ合う姿が、とても微笑ましく、子供たちが好きなんだなあと感じました。
- ・個人差はあるが、ハイ！と言える子と、言えない子とがいた。サービス業の大変さを分かっても

らえてるか・・・。

- ・オリエンテーションの際に、事前学習とかについて確認しましたが、希望の実習先だったのか疑問に感じました。（今回は、先生が実習先を決めていると聞いていましたから）
- ・仕事はしっかり取り組んでいましたが、少しおとなしいようでした。
一人だけの参加で、心細かったようでした。
- ・参加された生徒さんが「興味はあるが、保育士さんになると決めているわけではない」との見識でした。「保育士になりたい」と考えられている生徒さんであれば、意欲も違っていたと思います。
- ・初日はかなり緊張している様子でしたが、慣れてくると自ら取り組むほど意欲的でした。
- ・全体的に自ら行動しようとする積極性はみられなかったが、素直であり、業務に関し協力に応じて行動することができていた。
- ・事前にいただきました「目的」「これまでの職場体験との違い」等を読ませていただきました。しかし、従来の「職場体験」と大差ないように感じられました。病院という環境上、通常業務を経験していただくことができなかったのかもしれませんが。
- ・2人の女子生徒さんは、真面目に取り組んでおられました。
ただ、2人とも、おとなしく、元気がなかったようです。

「ハ」

- ・元気がない。 声が非常に小さい。

3. 3日間で生徒に変化が見られたでしょうか。

イ. 大きな変化が見られた	3
ロ. 少し変化が見られた	3 3
ハ. あまり変わらなかった	5

「イ」

- ・接客で最初は声かけがなかなか出来なかったみたいですが2日目、3日目と試食を勧めたり、声をかけたりが出来るようになりました。
- ・初日の挨拶では、かなり緊張していたようで、言葉に詰まるような場面もありましたが、二日目以降については、職員に対する挨拶や返事も元氣よく出来るようになっていました。
- ・初日は緊張気味だったが、少しずつ職場の雰囲気にも慣れてきて、積極的（質問等）に取り組む姿勢が見られた。

「ロ」

- ・変化はあったと思います。改めて仕事の大変さを感じているようでした。また、仕事は慣れてきても、もくもくとまじめに取り組む、懸命な姿がありました。
- ・最初は緊張ぎみでしたが、3日目は自分から積極的に高齢者の方に声をかけたり、レクレーションの準備を手伝ってくれています。1日ごとに返事もハキハキと元氣よくなってきた気がします。
- ・働くことは決して楽しいことばかりでないこと。しかし、楽しいと思うときは、決して一人だけでなく関係者多くが共有できる現実を実感してもらった。
- ・挨拶など事前にお話をしたり、声をかけたりする事に対して、素直に行う姿が見られました。3日間という日数の中で大きな変化は大人でも期待できないかと思います。
- ・初日は、やはり緊張していて、挨拶も返事も声が小さいのはどの学生さんも同じだと思いますが、2日目から本来の姿が見え始めると思います。そう言う意味でも、2日間より、3日間の時間は有効だと感じましたし、生徒さんにとっても、本気で取組が出来る時間では無いかと感じました。
- ・最初は、顔（表情）も固く緊張していましたが、日を重ねる度に笑顔がみられるようになりました。

- ・特にはわかりませんが、何か個々で感じたと思います。受け入れ側の体制にも問題があったと反省しています。
- ・部屋に入る時に「入ります」、帰るときに「帰ります」というように指導していました。初めは、緊張や恥ずかしさもあり、小さな声しか出せなかった、だんだん大きな声が出せるようになり、同時に行動等が少しずつですが積極的になり、表情も笑顔が出るようになりました。
- ・2日目から質問が多くなって意欲を感じられた。最終日に自分用のケーキを作らせた時、こだわりを持って想像以上のケーキを作っていた。
- ・事業所、作業内容が変わりましたので変化まで確認できませんでしたが、仕事に対する気持ちの持ち方、危険な作業、将来の夢、中学生に今後お願いしたいことなどをしっかり話ししましたし、少しは分かってもらえたと思います。
- ・初日はおとなしかったですが、徐々に慣れ、挨拶もしっかりできるようになっていました。
- ・始めから元気があり、意欲的だったのであまり分かりませんが、3日目にもなると自分で作業の効率を考えながら早くなっていたと思います。
- ・最終日は初日より声が大きくなって、目を見て話してくれる回数も増えた。
- ・分からない中での体験学習でとても緊張していましたが言ったことは素直にできていました。
- ・仕事に対する姿勢が変化したように思います。仕事の達成感。
- ・普段の生活や学校の授業では学べない社会のシステムや成り立ちを経験してもらいました。これからの人生設計に役立ててもらえればと思います。
- ・もともとしっかりあいさつや返事は出来ていました。今回の体験で働くことの大変さを実感出来たのではないのでしょうか。
- ・一日目は緊張の様子でしたが、徐々に笑顔が見られるようになり、保育士の話をよく聞き、行動できました。
- ・一人の生徒は作業のスピードも早くなり、話もしやすい感じに変わっていた。
- ・社会人としての必要なスキルについて話しましたが、意識できていたと感じます。
- ・コミュニケーションとして3日目に変化があった。
- ・ある程度、あいさつは出来るようになりました。
- ・実習内容には、一定度の興味を持ってもらい、結果として生徒に変化が見られたように思います。
- ・仕事とは何のためにあるのかを少し分かってくれた様子でした。
- ・自分が担当する子を一人決めて業務にかかわってもらいましたが、その子に対しての関心が深まっていくのを感じました。
- ・初日は笑顔がひきつっている監事でしたが3日目はだいぶ自然に笑顔が出てきていました。仕事の大変さも十分わかったようでした。
- ・時間の経過と共に少しずつ子供たちや職員との距離感も近づき笑顔で接する姿が見られるようになった。
- ・挨拶や返事という基本的な部分において少し改善がみられました。
- ・最初は緊張していたためか、なかなか会話がうまく出来なかったが、3日目には会話ができ、笑顔を出てきた。

「ハ」

- ・2日間とあまり変わらなかった。
- ・元々が良すぎたせいもあるかと思いますが、3日間という限られた時間の中で目に見えるほどの変化は求められないと思います。
- ・緊張もありましたが、中々、笑顔、挨拶が出来ておりませんでした。
- ・いろいろと感じることはあったのかもしれませんが、表情や行動に変化は見られませんでした。
- ・こちらが指示したことには積極的に仕事をしていました。

4. 生徒に何か「考えさせる」テーマを与えていただけましたでしょうか。

イ. 特に与えていない（生徒に任せていた）	19
ロ. 生徒が自分で考えていた	3
ハ. テーマを与えて、考えさせた	19

「イ」

- ・ 幼児の施設ということもあり、「考える」よりも「感じる」事を大切にしてもらいました。
- ・ 初めての「14歳のよのなか挑戦」でしたので、私たち受け入れ事業体の課題になると思います。
- ・ 「挨拶をすること」、「必ず質問をすること」夕方、確認を行った。

「ロ」

- ・ 見て覚えるということをきちんとしていた。
- ・ 生徒に質問し考えさせ、自らの考えを発言させた。造成地の電力供給工事を、現場調査から設計書の作成まで実施したことで、電気事業についてイメージができたと思われる。
- ・ ①何のために働くのか ②チームワーク ③中学生が学べること ④表には見えない仕事 ⑤その仕事の意義

「ハ」

- ・ 他の事業所で体験中の同級生とその担当者への質問を各10個程度用意させました。
- ・ 目標設定⇒計画作成⇒実行・実施⇒評価⇒修正のサイクル活用による夢へのチャレンジについて
- ・ 働くとは？ コストパフォーマンスをなぜ仕事で大事にするか？
- ・ 作る事、包装する事、接客する事。それぞれで考える事ができたと思います。
- ・ 自分が大人になったら何故働くのか、何のために働くのか、ただ食べるため生きるために仕方なく働かなければならないのか。ならば仕事とは、苦しいやな事なのか、あるいは働く事で楽しい事や生きがいといった事もあるのかという事について考えてもらいました。
- ・ 学校新聞を編集から製作、印刷まで行ってもらいました。
- ・ HP 記事の更新 1つのニュースリリースを渡し、内容を説明して、どの部分を抜き取り、どう書けば人にわかりやすく読んでもらえる記事になるか考えて書いてもらった。
- ・ 挨拶、声のトーン、大きさ、笑顔を心がける事で会話やコミュニケーションがとれる（とるきっかけになる）。※生徒さんにこのことがうまく伝わったのかは不安ですが。
- ・ 始業時間前の準備についてと新しい仕事を始める時のメモの取り方など。
- ・ 1, 2日目は体験をメインに現場作業をしていただいたが、3日目は、社会人になる事、働く事で地域経済を支えている事、人々の生活生命に関る事など交えて話をしました。生徒さんの趣味や部活での役割についてなども話すことができ、私自身、楽しい時間を過ごさせていただきました。
- ・ 試食販売（りんご）を事前に試食させ、どういう味が自分たちで伝えてもらいました。
- ・ ゴミの分別と出し方等について話をしましたが、自ら家庭でゴミを出すことをしていないようにあるので、今日学んだ事をきっかけに、積極的に取り組んでほしいとお願いした。
- ・ 業種、職種多様あるが全ての仕事で必要となるスキル、ビジネスマナー。
- ・ 3つのテーマを与えました。①自分から積極的に挨拶をする。②わからないことは、積極的に質問する。③命を預かっているので勝手な行動はとらない。まず、確認を。
- ・ テーマは与えていません。時間になったら自ら動いてくるまであえて指示をしませんでした。開始時間から遅れてくるなり立っていたので何故遅れてきたのか問いまして指示待ちになるのではないと指導しました。
- ・ 例えば、金属加工の体験実習において、加工するための「設計」も実習に加えたので考えることが多かったと思います。
- ・ 点検実施前に現場の状況からどのような危険が潜んでいるか考えさせた。

- ・担当する子の発達をチェックし、その子に対して自分がどのように接するべきなのかを考えてもらいました。
- ・今、学校で学んでいる教科、その他のことと仕事とのつながり・重要性
- ・事前に提出された履歴書の「どんなことを学びたいか」を念頭においてもらい十種に参加し、反省会において発表してもらった。各職員との意見交換などの形式をとりながら「学びの視点」を深めた。

5. これまで（2日間の職場体験）と違った工夫や取組をしていただいた場合は何でも結構です。

ご記入ください。

- ・朝礼をして「14歳のよのなか挑戦」の主旨を社員全員と共有し、特別扱いしないように伝えました。また、当社の社員も生徒さん達に見られている立場としてあいさつや礼儀、誠実な仕事をしていくように呼びかけました。
- ・他の事業所で職場体験中の生徒とその担当者を直接、取材（インタビュー）しました。
- ・社長、自らが1日相手をして、働くことについて話をした。
- ・日数が延びた事もあり、子供たちとより親密になれるような関りを感じてもらえたかと思います。
- ・今までとは違っていませんが、少しだけ製造そのものより、他の部署（営業や設計等）の時間を増やし、将来的な、職業選択の視野を広める様に、時間配分を考えました。同じ会社の中にも、色々な分野が有るという事を、知ってもらう為の工夫を、以前にも増して行ってみました。
- ・2日間の場合、工場もしくはテナントのどちらかでの体験だったのですが、今回は、工場、販売のどちらも出来たのでよかったと思います。
- ・通常のインターンシップは作業の中でもざつようや軽作業が多く、あたり障りのない事をさせる事が多いのですが、今回は、新入社員研修のつもりで包丁を持たせたり、機械操作もさせたり、より実戦に近い体験をしてもらいました。
- ・3日間に分けて体験部署を変えました。作業と一緒に参加していただきましたが障がいのある方達に対する個々の支援を体験するのは難しいと思いました。
- ・スイーツ作りだけではなく、2Fのカフェでの手伝いもしてもらいました。
- ・新入社員カリキュラムを元に作業内容、取組を理解し、(Off-JT)を行い、作業に取り組んでいただきました。
- ・今回はレジの体験も1時間程組むことができました。
- ・シャンプーを相手モデルでやってもらい、出来なくてあたり前で、シャワーを持つ大変さなどを体験してもらった。
- ・社員と変わらない服装等を用意する事で生徒と当社員との距離を縮める事をしてみました。
- ・実際、包丁などを使用させたり、値段をつける機械操作などはもちろん店頭販売等も行いました。
- ・デイリープログラムの作成（簡単な物で良かったようですが、難しく考えすぎて時間を要してしまいました。）保育士の勤務に合わせて体験してもらいました。
- ・作業だけではなく、売り場に立ってもらい、「いらっしゃいませ」や「ありがとうございます」など、実際に活気出しをしてもらった。
- ・実習プログラムを作成し、オリエンテーション時に実習中のテーマを与えました。
- ・仕事に飽きないように様々な作業内容に取り組んでももらいました。
- ・地域貢献活動の一環として実施している。大御神社清掃活動に参加してもらった。机上の体験だけでなく、現場でのダム洪水吐ゲート等の点検作業を体験してもらった。
- ・ほかの中学校と違い、いろいろなことにチャレンジしてもらいました。
- ・業務におけるPDCAサイクル（P：保育計画 D：保育実践 C：発達チェック A：改善）の中で、従来の職場体験ではDの体験のみでしたが、今回は1日目D～ 2日目C～ 3日目Aと体験してもらいました。1日目：保育実践を通して自分の担当児童を決定する 2日目：指導教諭と共に発達チェックを行い、翌日の実践の改善内容を検討する 3日目：前日の改善を元に保育を実践

する

- ・ 1日の違いですが3日あるとこちらもすっかりスケジュールを立ててあげないと機会をむだにしようという気持ちになります。今回、時間も変更できるということだったのでチェックインを体験学習に入れることができました。体験らしい体験ができたのではないかと思います。
- ・ 勤番（早番、普通番、遅番等）の交代勤務の経験を導入した。保育園の児童だけでなく保護者対応の経験もしてもらった。食育活動に参加。
- ・ 3日間のスケジュールを組みかえました。医師を希望する生徒さん達でしたので、院内多くの職種を見学、体験できるよう配慮致しました。また、体験型となるよう院内スタッフ部門の協力依頼をしました。
- ・ これまで受け入れたことがなく今回が初めてでしたが、業務前の全体朝礼（体操・発声練習）や掃除、車両の運行前点検など、なぜ、このような事をするのか意味を教えながら経験してもらった。
- ・ 今回は、昨年の職場体験とは違って、新入社員のように対応したので内容は充実していたと思います。

6. 今後、改善した方がいいことがありましたら、何でも結構です。ご記入ください

- ・ 何が正解なのか分かりづらく、他の職場体験と大きく変わらない感じがしました。もう少し分かり易い特色を出せないかと思います。もう少し、事前の詰めで明確な違い（他の体験と）をきちんと確認、共有する必要があると思いました。
- ・ 仕事を長く続ける為に必要なことは、夢や希望を持つことではなく「好きだ」という気持ちだとある本に書いてありました。今回は仕事の厳しさを教えて欲しい言われましたが、色々な仕事を体験する中で、「この仕事面白そうだな」と感じる気持ちと好奇心の方を大切にして頂けたらと思います。
- ・ 7年生が取材にお見えでしたが、小学校の社会科見学とあまり変わらないのかなと思いました。あれが、来年インターンシップに参加する子供たちに必要かは疑問です。
- ・ 先にお電話いただいた女性の方と、先生との打合わせの日程を決めたのですが、その日に先生が来なかったので、打合わせは直接行った方がよいのでは。
- ・ 時期的には良かったと思います。
- ・ 今回の期間は、県の検査が入ってしまて十分な計画が出来ませんでした。一般的な体験学習に少し手を加えただけで終わりました。毎日作業内容が少ないため、どの作業をさせるかを今後検討し、詳細な計画を立てて受け入れる必要があると思います。
- ・ 弁当持参で生徒間の平等という事もわかりますが、自分で作業してできた食べ物を食べる事もよい勉強かと思います。
- ・ 服装もきちんとしていて問題ありませんでした。
- ・ 仲の良い者同士で来ると、私語が多くなるので楽しく3日間を過ごしてもらいたいのですが、お客様がいる所では少し困ります。
- ・ 実習直前に電話連絡があると良いと思う。持ってくる物や注意する事がある為！
- ・ 生徒さんにとって他の事業所体験もあるともっと良いかと思います。
- ・ 自宅までの通所が心配なため、終了時刻は学校側が定めてくれた方が事務所側としては安心。
- ・ すべてにおいてまず「アイサツ」だと思います。
- ・ 「自己紹介カード」をいただけるとコミュニケーションが取りやすく助かります。（財中、富中では作っています。）事前の生徒本人との電話のやり取りがなかったのは助かります。
- ・ 本来は、職場の仕事を直接体験してもらおうのが理想と思いますが、当センターの業務の性質上、仕事を手伝ってもらうのは難しい状況でした。このため、実習生が興味を持ってもらえそうなメニューを設定し、実習をさせていただきました。
- ・ 今後、日向土木保修所等への現場を伴う体験学習に行く場合は、長袖、長ズボン（ジャージ）の

ほうが良い。

- ・事前の打合わせを生徒さんと一緒に話しをしてみて、どういう事を学びたいか、その他仕事の説明ができればいいなと思いました。
- ・とても良い活動だと思います。今後ともこの活動がより深化し、継続されていくことを望みます。
- ・お金じゃなくてよいと思いますが、仕事をした分（評価分）のなにかしら報酬（ポイント・ごほうび）がもらえるようにするとともに意欲がわき、実際に働いている気持ちに近い体験ができるのではないかと思います。評価表にシールをはるだけでも。
- ・挨拶 返事 社会人となって最も大切な事です。

7. 学校への意見やご要望がありましたらお願いします。

- ・先生達もまめに来店頂き、見守りサポート体制が――。
- ・貴校での購読をお願いします。
- ・日常生活の延長上に仕事というものが存在するものであり、仕事が非日常的なものとして特異的であってはいけないと思います。学生の学校生活とつながりある職業体験であってほしいと思います。
- ・今後もよろしくお願いします。
- ・難しいとは思いますが、早朝（3:00 から工場が動く）の体験というのも考えてもらえるともっと製造の事を知ってもらえると思いました。
- ・先生との受け入れ事業体との綿密な打合わせが必要と思いました。事業体ごとに作業内容が違いますので、何処までさせていいのか、どのレベルまでテーマをあげていいのか分からない部分がありました。出来れば、受け入れる子供たちと先生、事業体で体験学習の前（1週間前）に一度、打合わせを行う機会が出来たらと思います。
- ・本当に生徒さんが知りたい、学びたい部分と私達が伝える事がマッチしているか検証していただきたいです。（生徒さんの考えを知りたい。）
- ・しっかりと事前教育をして頂いていました。
- ・もう少し詳しく打合わせをすると良かったかと思います。
- ・次回もよろしくお願いします。
- ・生徒様側の反応を知りたい。
- ・実習期間は、「3日間」が限度と考えておりますので御配慮をお願いします。
- ・子ども達を3日間預かるということで受ける前は少々不安でしたが、先生がこまめに連絡・説明してくださったので内容もよく理解でき安心して対応できました。
- ・実習体験者の感想、この挑戦で「よのなかの仕事」について何を感じたか聞かせて頂き、今後の参考にできればと思います。
- ・今回の目的を達成するような受け入れ側の体制が整っていなかったのでは――と考えたりしております。仕事のやり甲斐を知ったり、社会で必要な人間性を学ぶため事前の話し合い検討必要
- ・生徒本人が体験する職場のイメージをどう思っているのか？体験後はどのように感じたか聞きたい。

8. 商工会議所、キャリア教育支援センターへの意見やご要望がありましたらお願いします。

- 大人だけの思いだけを押しつけるのではなく、学生達の学校生活を含む日常生活を踏まえた上で
の事業であってほしいと思います。
- 今回は NHK の取材も入れていただき企業側もありがたい職場体験でした。本当にありがとうございました。
- うちの店はたくさんの学校の生徒さんが実習に来るのですが、大王谷だけが一生懸命で、受け入
れる側のスタッフからするとその温度差に戸惑ってしまいます。できれば日向市全体で同じよう
にしてもらうのが理想です。
- 私たちも人財育成には、特に頭を悩ませております。この事業は、とても必要な事と考えており
ますので、出来るだけの協力はするつもりでおります。ご指導の程、よろしくお願いします。
- 学校だけでなく、バックアップできる体制があり良いと思います。
- 何をやりたいかの前に、どうして働くのかや働く事への悩み、楽しみ、会社、社会を今の生徒さ
んがどう思っているのか、アンケートを取ったり、ディスカッションをやってみるのも良いので
はないかと思いました。(生徒さんの考えを知りたい。)
- 学習している姿を見学して頂く機会があると良いかと思ひます。
- 今後もどうぞ宜しくお願い致します。
- ほかの中学校でも同じキャリア教育をやっていけばいいと思ひます。
- 仕事を体験するってとても大切だと思うので今後も拡充して続けてほしいです。

以 上